1519

令和7年度 府立学校リーダー養成研修 実施要項

- 1 目的 今後の府立学校を支えていくために、各学校のリーダーとなるための幅広い素養を身に付ける。
- 2 対象 原則として、教職経験5年以上の教諭・養護教諭・栄養教諭及び首席・指導教諭・指導 養護教諭・指導栄養教諭、各校各課程1名。

募集人数 100名

3 日時等

| 口 | 日時 | 主題等 | 講師等 |
|---|-------------------------|------------------------|---------------------|
| | 6月6日 (金) 14:00~17:00 | リーダー養成研修の開催に当たって | 大阪府教育センター |
| | |) DEMANDED INTERCED C | 部長 |
| | | リーダー養成研修について | 大阪府教育庁 |
| 1 | | | 職員等 |
| | | ミドルリーダーに期待すること | 府立学校長等 |
| | | アクションプランの作成に向けて | 大阪府教育センター |
| | | 〔講義・演習〕 | 指導主事等 |
| | オンデマンド開催 | 人権教育の推進 | 大阪府教育庁 |
| | 7月2日 (水) | 「ともに学び、ともに育つ」教育の推進 | 職員等 |
| | ~ | ハラスメントの防止 | |
| 2 | 7月24日 (木) | 〔講義〕 | |
| | | 危機管理等に関する事例研究 | 大阪府教育庁 |
| | 7月25日(金) | | 指導主事等 |
| | 15:00~17:00 | アクションプランの経過報告 | 大阪府教育センター |
| | | 〔講義・協議〕 | 指導主事等 |
| | 7月18日(金) 14:00~17:00 | 学校組織マネジメント | 静岡大学大学院 |
| 3 | | ーミドルリーダーとしての役割ー | 教育学研究科 |
| | 14.00 ~17.00 | 〔講義・演習〕 | 教授 武井 敦史 |
| | | チームビルディング | ソルナ・クリエイト株式会社 |
| 4 | 10月10日(金) | -組織の中でどう動くのか- | 取締役 大川 郁子 |
| - | 14:00~17:00 | 〔講義・演習〕 | |
| | | 学校づくり | 府立学校教頭等 「中国学校教」第 |
| | 2月2日 (月) 14:00~17:00 | 子校 つくり 一教頭の実践に学ぶー | / 八二十(汉)(汉)(宋) |
| | | - 指導主事の職務を知る- | |
| 5 | | アクションプランの実践報告 | 大阪府教育センター |
| | | | 指導主事等 |
| | | 研修を終えるに当たって | 大阪府教育センター |
| | | 〔講義・協議〕 | 部長 |

※太字の時間帯は、通常の時間帯と異なるので注意してください。

※第2回(オンデマンド開催)、第3回及び4回は「府立学校首席研修」との共通研修です。

※第2回は、集合開催とオンデマンド開催との両方を受講してください。

4 会場 第1~5回

大阪府教育センター (大阪市住吉区苅田4丁目13番23号 電話06-6692-1882)

Osaka Metro 御堂筋線「あびこ」駅下車、東北東へ約 700m JR阪和線「我孫子町」駅下車、東へ約 1,400m 近鉄南大阪線「矢田」駅下車、西南西へ約 1,700m

第2回(オンデマンド開催) 所属校等

- 5 その他 (1) 受付は30分前から。
 - (2) 来所時には、所属名・名前の入った名札を着用すること。
 - (3) 大阪府教育センターに、自家用自動車・バイク等の駐車はできません。
 - (4) (受講決定後~当日) Plant で、事前連絡や課題等がないか確認すること。
- 6 担当室 学校経営研究室

個別募集

令和7年度 府立学校リーダー養成研修 シラバス

1519

1 目的

今後の府立学校を支えていくために、各学校のリーダーとなるための幅広い素養を身に付ける。

2 大阪府教員等育成指標の対象項目

| スクールリーダースタンダード | | | | | | |
|----------------|---|---|---|---|---|---|
| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 第4期(校長・准校長) | | | | | | |
| 第3期(教頭) | | | | | | |
| 第2期(首席・指導教諭) | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| 第1期(リーダー養成期) | 0 | 0 | 0 | 0 | | |

3 研修の主題とねらい等

| 3 | 研修の王趙とねらい等 | | | | |
|---|--|---|--|--------------------------------|--|
| 回 | 主題 | ねらい | 内容 | 準備物・ 事前課題 | |
| | リーダー養成研修の 開催に当たって リーダー養成研修に ついて | リーダー養成研修の趣旨 を踏まえ、リーダーに求め られる役割や自分自身の キャリアデザインについ て理解する。 | 講義を通して、大阪府の教育 課題等を踏まえ、今後の取組 みやキャリアデザインについ て学ぶ。 | | |
| 1 | ミドルリーダーに期 待すること | 学校運営の中でミドルリーダーとして自身が担う べき役割について理解する。 | 講義を通して、府立学校長等 の経験や実践を基にミドルリ ーダーに期待する役割につい て学ぶ。 | | |
| | アクションプランの 作成に向けて | 自校の学校経営計画を踏まえ、現状分析と、課題設定の考え方について理解する。 | 講義、演習を通して、自校の現 状を分析し、ミドルリーダー としての役割を意識したアク ションプランを作成する方法 について学ぶ。 | 準備物 所属校の令 和7年度学 校経営計画 | |
| | 人権教育の推進 | 大阪府が推進する人権教育の現状と課題について 理解を深める。 | 講義を通して、人権教育の現 状と課題や具体的な事例を基 に「人権が尊重された学校づ くり」について学ぶ。 | | |
| 2 | 「ともに学び、ともに 育つ」教育の推進 | 「ともに学び、ともに育 つ」教育について理解を深 める。 | 講義を通して、「ともに学び、 ともに育つ」教育を推進して いく学校づくりについて学 ぶ。 | | |
| | ハラスメントの防止 | ハラスメントの防止につ いて必要な知識や対応方 法等を理解する。 | 講義を通して、具体的な事例 を基にハラスメントの防止に ついて学ぶ。 | | |

| | 危機管理等に関する 事例研究 | 「安全・安心な学校づく り」に向けて、学校の危機 管理等について理解する。 | 協議、指導助言を通して、これまでに学校で発生した具体的な事例を基に対応方法や安全・安心な学校づくりについて考察する。 | |
|---|---------------------------------------|---|---|--|
| | アクションプランの 経過報告 | 他校のミドルリーダーと プランを共有することに より、自身のアクションプ ラン及び取組みを改善す る。 | 協議を通して、より具体的な プランの作成及び取組みにつ いて考察する。 | 事前課題 作 成 中 の 「アクショ ンプラン」 |
| 3 | 学校組織マネジメント ーミドルリーダーと しての役割- | ミドルリーダーとして組織を牽引する力を向上させるために、効果的なマネジメントの方法について理解する。 | 講義、演習を通して、具体的な 事例を基にミドルリーダーと して組織を牽引するためのマ ネジメントの方法について学 ぶ。 | |
| 4 | チームビルディング ー組織の中でどう動 くのかー | チームビルディング及び リーダーシップの基本に ついて理解する。 | 講義、演習を通して、組織づくりについて学ぶとともに、課題解決を進めるために必要なスキルや具体的な行動について学ぶ。 | |
| | 学校づくり - 教頭の実践に学ぶー - 指導主事の職務を 知る- | 教頭や指導主事の職務の 魅力ややりがいについて 知ることにより、自分自身 のキャリアデザインにつ いて考える。 | 講義を通して、教頭及び指導 主事の実践や職務等について 学ぶ。 | |
| 5 | アクションプランの 実践報告 | 作成したアクションプランの実践について、協議を通して自らの成果と課題について理解を深め、今後の取組みを考える。 | 協議を通して、ミドルリーダーとしての自校での取組みについて、成果と課題を認識し、他校の取り組みから、課題の改善方法を学ぶ。 | 事前課題「アクションプラン」(完成版)※必提出の**はとはします。 |
| | 研修を終えるに当た って | 今後のリーダーとしての 自身の在り方を考え、身に 付けるべき資質・能力につ いて理解する。 | 講義を通して、今後のリーダーとしての自身の在り方や身に付ける資質・能力について学ぶ。 | |